

## 2021年度入学試験筆記試験（小論文試験）

次の問題文①と問題文②は、いずれも同一の著者によるものである。これらを読んで、後の設問に答えなさい。

### 【文章省略】

下記の文章を示し、以下のように出典等の記載を付した。

〔出典：問題文①：青木人志『日本の動物法〔第2版〕』（東京大学出版会，2016年）。問題文②：青木人志「『権利主体性』概念を考える — AIが権利をもつ日は来るのか」法学教室443号（2017年）54頁。出題の都合上，文章の一部を省略し，注及び小見出しを削除する等の変更を加えた。〕

### 設問1

問題文で示されている「動物の福祉」および「動物の権利」とはそれぞれどのような概念か。相違点を明らかにしつつ，400字以上800字以内で説明しなさい。その際，「動物の権利」を法的なものとして構成するか否かという点にも言及すること。

### 設問2

動物の保護に対して，あなたはどのような考え方で臨むべきだと考えるか，問題文の内容や設問1を踏まえつつ，400字以上800字以内で論じなさい。